

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			
	全般結果	<ul style="list-style-type: none"> 基準値が7mg/Lに設定されているSt.1では、調査期間中のSS値は基準値以下であった。 基準値が11mg/Lに設定されている調査地点(全17地点)では、St.15、St.16、St.17、St.Aの4地点を除く他の調査地点で調査期間中のSS値は基準値以下であった。 基準値を超えた観測の回数: St.15 = 6回(12～16mg/l)、St.16 = 17回(12～63mg/l)、St.17 = 12回(13～60mg/l)、St.A = 18回(12～29mg/l) 	<ul style="list-style-type: none"> 対象期間を通して、打設場所近傍のSt.18、19、20、21、22では基準値を超える値は観測されなかった。 観測された濁りは、波浪などによる底質の巻上げ、流入水路からの降雨や生活排水などによる濁水の流入などが影響していると考えられる。 	
水質調査結果	海域	基準値を超える濁りは観測されなかった。		
	流入水路部 (St.16 St.17 St.A)	<ul style="list-style-type: none"> 2日午後St.15で基準値を超える濁りが観測された。 	<ul style="list-style-type: none"> 浅瀬での底質の巻上げによる濁りが見られ、その濁りが沖に広がっているのが調査員により確認されており、その濁りが観測されたと考えられる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 3日午前St.16、St.17、St.A、午後St.15、St.16、St.17、St.A、5日午前St.15、St.16、St.17、St.A、午後St.16、St.17、St.A、11日午前St.16、St.17、St.A、午後St.15、St.16、St.17、St.A、23日午前St.16、St.17、午後St.16、St.17、St.Aで基準値を超える濁りが確認された。 	<ul style="list-style-type: none"> 降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 4日午後St.16、6日午前St.16、午後St.16、7日午後St.16、9日午後St.16、St.17、12日午前St.16、午後St.15、St.A、16日午前St.16、St.A、午後St.15、St.17、St.A、18日午前St.16、午後St.A、19日午後St.A、20日午後St.17、St.A、21日午後St.17、24日午後St.16、St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 	<ul style="list-style-type: none"> 流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 19日午前St.A、20日午前St.A、21日午前St.A、午後St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査員により流入水路部からの生活排水の流入や、油膜の流下、異臭が確認されており、これらの濁水が観測されたと考えられる。 		
生物監視調査	モニタリング調査結果は別添の資料参照			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 杭の打設日: 1, 2, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 12, 14, 15日(合計12日間) 22日: 工事完了 			

